

会誌『図書館界』

- ・隔月刊（年6回、奇数月1日発行）
- ・研究論文、現場からの提言、書評・新刊紹介、エコー、座標のほか、研究大会特集（シンポジウム、グループ研究発表）、図書館学セミナー特集など
- ・J-STAGE でバックナンバーを公開中。各号目次、年間の総目次・総索引をホームページに掲載
<http://www.nal-lib.jp/kai/back-cont.html>
- ・『界』は査読誌です。論文など会員からの投稿を募集しています。ご投稿の際はホームページの投稿規定をご参照ください。
<http://www.nal-lib.jp/kai/kitei.html>

入会方法

- ・日図研ホームページ(<http://www.nal-lib.jp/>)に入会申込フォームがあります。そこに必要事項を入力し、送信してください。
- ・会員異動届フォームもあります。

年会費(前納制)

個人会員 5,000 円
団体会員 8,500 円
学生会員 3,000 円 (有職者を除く)

口座番号 ゆうちょ銀行 00910-0-57558

加入者名 日本図書館研究会

郵便振替用紙で上記口座に年会費をお振り込みください。
入金確認後、『図書館界』を発送します。
入会特典として、日図研刊行物の中から好きなものを1冊進呈します(新刊を除く)。

入会のお申し込み・お問い合わせは

日本図書館研究会事務局

〒550-0002 大阪市西区江戸堀 2-7-32 ネオアーヂュ土佐堀 205

TEL&FAX 06-6225-2530

E-mail : nittoken@ray.ocn.ne.jp

<http://www.nal-lib.jp/> twitter : @nal_tweet

※事務局は月曜・木曜 13 時～17 時在室



入会案内

Nippon Association for Librarianship

日本図書館研究会

since 1946

2021 年
日本図書館研究会は
創立 75 周年を迎えます

21 世紀の図書館の発展のために

図書館は、人類の所産である知識や情報を共有資源として活用するための社会的なしくみです。情報化が進展し、膨大な情報がネットワーク上で発信される現代社会において、収集した情報を組織化し、すべての人に必要とする情報を提供する情報拠点として、図書館とそれを支える図書館員の役割はますます重要になっています。

日本図書館研究会(日図研)は、そのための研究と実践の両立を基本理念として活動を行っています。

21 世紀の図書館と社会の発展のために、あなたもぜひ日図研にご入会ください。

日図研はこんな活動をしています

2017.4 現在

会誌『図書館界』

- ・隔月刊（年6回、奇数月1日発行）
- ・会員の投稿による研究論文、現場からの提言を中心に、書評・新刊紹介、エコー、座標、などを掲載
- ・研究会特集ではシンポジウムとグループ研究発表論文を、図書館学セミナー特集では報告と討議を掲載。ほかに独自企画による特集や、50号ごとの文献レビュー特集がある。
- ・最近の研究論文（査読あり）
植村要, 松原洋子「大学図書館におけるプリント・ディスプレイのある利用者に対する環境整備と合理的配慮提供の課題」(68巻4号, 2016.11)
川崎良孝「ウェイン・A. ウィーガンドと文化調整論：図書館史研究の第4世代」(68巻3号, 2016.9)

研究会

- ・毎年2月または3月に2日間の日程で開催
- ・1日目は個人研究発表(公募)とグループ研究発表、2日目はタイムリーなテーマによるシンポジウムが行われる。毎年、非会員を含め、約150人の参加がある。
- ・開催案内(参加要項)は『界』1月号とホームページに掲載
- ・最近のシンポジウムのテーマ
「図書館の連携サービスの可能性と課題」(2016年度)
「障害者差別解消法の施行と図書館」(2015年度)
「学びの変化と図書館」(2014年度)
「人と人、人と資料が出会う場としての図書館」(2013年度)
「ネットワーク時代の図書館とプライバシー：なぜ守る？どう守る？」(2012年度)

ブロックセミナー

- ・全国を9ブロック(地区)に分け、ブロックの会員の要望にもとづいて日図研が講師を派遣。年に2回程度開催
- ・地方在住の会員にとっては、地元にいながら日図研のセミナー(研修)に参加する機会を得られる。
- ・最近のブロックセミナーのテーマ
「あらためて障がい者サービスを考える」(2016年度、中国ブロック・島根、講師：前田章夫)
「図書館における合理的配慮の提供に向けて」(2016年度、九州ブロック・熊本、講師：野口武悟・常世田良)
「県立図書館と市町村立図書館－連携・協力のあり方－」(2011年度、四国ブロック・徳島、講師：千歳則雄)

出版活動

- ・『文化の朝は移動図書館ひかりから：千葉県立中央図書館ひかり号研究』オーラルヒストリー研究グループ編著 2017.3 12, 259p 定価4,000円(税別) **新刊!!**
- ・『図書館資料の目録と分類』増訂第5版 2015.4 245p 定価1,100円(税別)
- ・『図書館・図書館学の発展：21世紀初頭の図書館』日図研編集委員会編 2010.10 337p 定価4,000円(税別)
- ・『構造的転換期にある図書館：その法制度と政策』日図研編集委員会編 2010.3 277p 定価2,800円(税別)
- ・『図書館の発展を求めて：塩見昇著作集』塩見昇先生古稀記念事業会編 2007.2 467p 定価6,000円(税別)
- ・『子どもの読書環境と図書館』日図研編集委員会編 2006.5 232p 定価2,381円(税別)
- ・『公立図書館の役割を考える』伊藤昭治・山本昭和編著 2000.2 251p 定価2,000円(税別)
- ・『こうすれば利用がふえる』公立図書館の経営調査委員会 1997.2 240p 定価2,000円(税込)
- ・研究会予稿集 定価500円(税別) ほか

図書館学セミナー・国際図書館学セミナー

- ・毎年10月または11月に全日の日程で開催。ただし、国際図書館学セミナーが国内開催(3年に一度)の年は非開催
- ・タイムリーなテーマのもと、基調報告・事例報告・討議が行われる。非会員を含め、毎回60~100人の参加がある。
- ・開催案内(参加要項)は『界』9月号とホームページに掲載
- ・最近の図書館学セミナーのテーマ
「高齢社会と図書館」(2016年度)
「図書館に関する著作権の動向2015」(2015年度)

図書館研究奨励賞

- ・『界』掲載の論文または現場からの提言で、若手会員による優れた論文等に対して授与。授賞者は研究会で表彰
- ・最近の授賞者と授賞論文
加藤和英「県立図書館の課題と方向性に関する一考察」(2016年度)
嶋崎さや香「教育会図書館の社会的意義：滋賀県八幡文庫(1904-1909)を例に」(2015年度)
福井佑介「図書館の倫理的価値の展開と限界：価値の対立における倫理的枠組み」(2013年度)

研究例会・特別研究例会

- ・研究例会は月1回、平日夜間や土曜午後で開催
会員の日頃の研究成果や実践等を発表していただく、会員の相互研鑽の場である。毎回10~20人の参加がある。
- ・特別研究例会は年1回、評議員会の日(の)の午前に開催
館界の識者を招いてご講演いただく。毎年60人前後の参加がある。
- ・開催案内は『界』各号とホームページに掲載

研究グループ助成

- ・7人以上の会員で構成される研究グループに活動費を助成
- ・2年ごとに助成を受けるグループを募集。助成を受けたグループは研究会・研究例会その他で研究成果を発表
- ・現在活動中の研究グループ
情報組織化研究G 図書館サービス研究G 図書館学教育研究G 読書調査研究G 児童・YAサービス研究G 愛知研究例会 「マルチメディアと図書館」研究G オーラルヒストリー研究G 学校図書館研究G 図書館職の記録研究G 資料保存研究G 大学図書館研究G 筑波研究例会

●上記出版物のお買い求めは

日本図書館研究会事務局までメールでお申し付けください。

E-mail: nittoken@ray.ocn.ne.jp

※日図研主催の研究会・セミナーはすべて、会員・非会員を問わず、どなたでも参加できます。